

# 子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について

社会保障審議会児童部会

児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会

第4次報告

平成20年3月

# 目 次

1. はじめに .....	1
2. 検証の対象とした事例及び検証方法 .....	2
1) 対象事例 .....	2
2) 検証方法 .....	2
3. 集計結果 .....	3
1) 死亡した子どもの年齢・性別 .....	3
2) 虐待を行った者の状況等 .....	5
3) 死亡した子どもに関する事項 .....	9
4) 養育環境などについて .....	13
5) 関係機関の対応について .....	21
6) 要保護児童対策地域協議会 .....	28
7) 死亡後の対応 .....	31
8) 残されたきょうだいについて .....	34
9) 3歳未満と3歳以上の比較 .....	40
10) 0歳児の死亡について .....	48
4. 個別ヒアリング調査対象事例の問題点と課題 .....	51
5. 考察 .....	59
1) 年齢等 .....	59
2) 妊娠期に問題を抱えた事例 .....	59
3) 精神障害のある保護者への対応 .....	59
4) 関係機関の関与 .....	60
5) 児童相談所のアセスメント .....	61
6) 心中事例について .....	63
7) 残されたきょうだいへの対応 .....	64
8) 地方公共団体が実施した検証について .....	64
6. 課題と提言 .....	65
1) 発生予防に関するもの .....	65
2) 早期発見・早期対応に関する課題 .....	66
3) 保護・支援に関する課題 .....	68
4) その他 .....	69
5) まとめ .....	70
【参 考】 .....	71

## 1. はじめに

子ども虐待による死亡事例等の検証は、社会保障審議会児童部会の下に設置されている「児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会」（以下「検証委員会」という。）において平成16年より実施されており、平成19年6月の第三次報告では、死亡事例から明らかとなった問題点・課題から具体的改善策を提示した。この提言を受けて、厚生労働省では発生予防として生後4か月までの全戸訪問事業及び育児支援家庭訪問事業を児童福祉法の一部を改正する法律案において規定するとともに、必要な場合は妊婦も子どもを守る地域ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）の対象ケースとするなど、地域ネットワークの対象範囲を広げることとした。また、早期発見として安全確認の強化、アセスメントのためのチェックリスト作成及び保護・支援として保護者指導のガイドラインや児童養護施設等退所に向けたチェックリスト等を策定し、本年2月に公表したところである。

また、本年4月に施行予定の改正児童虐待防止法においては、児童の安全確認等のための立入調査等の強化及び指導に従わない保護者に対する面会通信制限・接近禁止命令等について新たに規定されたほか、「国及び地方公共団体は、児童虐待を受けた児童がその心身に著しく重大な被害を受けた事例の分析を行う」国・地方公共団体の責務が盛り込まれるなど、子ども虐待への対応が強化されることとなった。

しかしながら、現在も跡を絶たない児童虐待による死亡事例をなくしていくためには、制度の適切な運用が必要であり、そうした点からも検証を実施することは重要となると考えられる。

今般、本検証委員会においては、平成18年1月1日から同年12月末日までの一年間に発生した事例について分析検討を行い第四次報告をとりまとめたが、これらの諸状況を踏まえ、改めて、あるいは新たに明らかとなった課題に対して、具体的な改善策を提言することとした。本報告書が今後の施策に活かされ、虐待による死亡事例がなくなることを期待したい。

## 2. 検証の対象とした事例及び検証方法

### 1) 対象事例

平成18年1月1日から同年12月31日の間に子ども虐待による死亡事例として厚生労働省が把握した合計例100(126人)。(心中以外の事例52例(61人)、心中事例48例(65人)であった。

### 2) 検証方法

#### (1) 調査票による調査

厚生労働省が関係都道府県(指定都市を含む。以下同じ。)の児童福祉主管課に対し、事例の概要及び子どもの状況、虐待を行った者の状況、養育環境、関係機関の対応等の詳細について調査票を送付し回答を求めた。

#### (2) ヒアリングによる調査

さらに、地方公共団体において検証が実施された事例のうち、子どもに障害があった事例、児童相談所及び市町村虐待担当課が関与していなかった事例、婦人相談所の関与があった事例、死亡した子どもとは別のきょうだいの虐待通告があった事例の計4例について、更に詳細な事実確認を行うため、関係都道府県・市町村及び関係機関を対象にヒアリングを実施した。

ヒアリングに当たっては、専門委員及び厚生労働省担当者がチームを組み、関係機関を訪問して行った。

#### (3) 分析

(1)及び(2)の調査結果を基に、検証委員会においてこれまでの検証結果も踏まえ、事例の総体的分析を行うとともに、個別事例から得られた課題等について分析した。

なお、今回も第3次報告と同様に心中以外的事例と心中事例とを分けて集計し、その相違等について分析を行った。

また、本報告書では、対象者のプライバシー保護にも配慮し、個別事例について、検証の趣旨を損なわない範囲で個人を特定できる情報を削除するとともに内容を修正し、記述することとした。

### 3. 集計結果

#### 1) 死亡した子どもの年齢・性別

○ 平成18年1月～12月までの1年間に厚生労働省が把握した虐待により死亡した子どもの事例は、心中以外的事例が52例（61人）、心中による事例が48例（65人）であった。第三次報告（平成17年1月～12月）と比較すると、心中以外的事例では1例（5人）、心中による事例では29例（35人）の増加であった。

なお心中事例の増加は、実際の事例数そのものが増加しているとは言いきれず、地方公共団体において、検証対象事例として国に報告すべきものとの認識が高まり、報告されるようになったためとも考えられる。

表1-1 死亡事例数及び人数

区分	平成17年			平成18年		
	心中以外	心中 (未遂を含む)	計	心中以外	心中 (未遂を含む)	計
例数	51	19	70	52	48	100
人数	56	30	86	61	65	126

○ 性別は、心中以外的事例では、男が34人（55.7%）、女が27人（44.3%）であり、男の割合が女よりも多かった。心中による事例では、男が32人（49.2%）、女が33人（50.8%）であり、男女の割合はほぼ等しかった。いずれも平成17年とは逆転していた。

表1-2 死亡した子どもの性別

区分	平成17年							平成18年				
	心中以外			心中(未遂を含む)			計	心中以外		心中(未遂を含む)		計
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合		人数	構成割合	人数	構成割合	
男	20	35.7%	39.2%	21	70.0%	70.0%	41	34	55.7%	32	49.2%	66
女	31	55.4%	60.8%	9	30.0%	30.0%	40	27	44.3%	33	50.8%	60
小計	51	91.1%	100.0%	30	100.0%	100.0%	81	-	-	-	-	-
未記入・不明	5	8.9%		-	-		5	-	-	-	-	-
計	56	100.0%		30	100.0%		86	61	100.0%	65	100.0%	126

○ 死亡した子どもの年齢は、心中以外の事例では、0歳が20人（32.8%）、1歳が7人（11.5%）、2歳が5人（8.2%）、3歳が13人（21.3%）であり、3歳以下が45人（73.8%）を占めていた。

心中事例では、0歳が7人（10.8%）、1歳が4人（6.2%）、2歳が8人（12.3%）、3歳が5人（7.7%）であり、3歳以下が24人（36.9%）を占めていた。

表1-3 死亡した子どもの年齢

年次 年齢	平成17年							平成18年						
	心中以外				心中(未遂を含む)			心中以外			心中(未遂を含む)			
	人数	構成割合	有効割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合	
0歳	20	35.7%	38.5%	38.5%	6	20.0%	20.0%	20	32.8%	32.8%	7	10.8%	10.8%	
1歳	6	10.7%	11.5%	50.0%	3	10.0%	30.0%	7	11.5%	44.3%	4	6.2%	16.9%	
2歳	1	1.8%	1.9%	51.9%	2	6.7%	36.7%	5	8.2%	52.5%	8	12.3%	29.2%	
3歳	9	16.1%	17.3%	69.2%	1	3.3%	40.0%	13	21.3%	73.8%	5	7.7%	36.9%	
4歳	6	10.7%	11.5%	80.8%	2	6.7%	46.7%	7	11.5%	85.2%	4	6.2%	43.1%	
5歳	3	5.4%	5.8%	86.5%	1	3.3%	50.0%	2	3.3%	88.5%	7	10.8%	53.8%	
6歳	2	3.6%	3.8%	90.4%	2	6.7%	56.7%	1	1.6%	90.2%	6	9.2%	63.1%	
7歳	2	3.6%	3.8%	94.2%	1	3.3%	60.0%	2	3.3%	93.4%	2	3.1%	66.2%	
8歳	1	1.8%	1.9%	96.2%	2	6.7%	66.7%	-	-	-	4	6.2%	72.3%	
9歳	-	-	-	-	2	6.7%	73.3%	1	1.6%	95.1%	6	9.2%	81.5%	
10歳	-	-	-	-	1	3.3%	76.7%	1	1.6%	96.7%	3	4.6%	86.2%	
11歳	1	1.8%	1.9%	98.1%	3	10.0%	86.7%	1	1.6%	98.4%	2	3.1%	89.2%	
12歳	-	-	-	-	1	3.3%	90.0%	-	-	-	4	6.2%	95.4%	
13歳	-	-	-	-	1	3.3%	93.3%	-	-	-	-	-	-	
14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3.1%	98.5%	
15歳	-	-	-	-	2	6.7%	100.0%	-	-	-	1	1.5%	100.0%	
16歳	1	1.8%	1.9%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17歳	-	-	-	-	-	-	-	1	1.6%	100.0%	-	-	-	
小計	52	93.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
未記入	4	7.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	56	100.0%	-	-	30	100.0%	-	61	100.0%	-	65	100.0%	-	

## 2) 虐待を行った者の状況等

- 主な虐待の種類は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「身体的虐待」が35人（60.3%）、「ネグレクト」が23人（39.7%）であり、「身体的虐待」が半数以上を占めていたが、平成17年と比べると身体的虐待が減少し、ネグレクトの割合が増加した。

表2-1 主な虐待の種類

区分	平成17年			平成18年		
	心中以外			心中以外		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	44	78.6%	86.3%	35	57.4%	60.3%
ネグレクト	7	12.5%	13.7%	23	37.7%	39.7%
小計	51	91.1%	100.0%	58	95.1%	100.0%
不明	5	8.9%		3	4.9%	
計	56	100.0%		61	100.0%	

- 確認された虐待の種類では、心中以外の事例は、「身体的虐待」が37人（46.3%）、「ネグレクト」が35人（43.8%）、「心理的虐待」が4人（5.0%）、「医療ネグレクト」が4人（5.0%）であった。

表2-2 確認された虐待の種類

区分	心中以外	
	人数	構成割合
身体的虐待	37	46.3%
ネグレクト	35	43.8%
心理的虐待	4	5.0%
医療ネグレクト	4	5.0%

○ 直接死因は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「頭部外傷」が12人（21.8%）と最も多く、次いで「火災による熱傷・一酸化炭素中毒」が11人（20.0%）、「頸部絞扼による窒息」が7人（12.7%）、「頸部絞扼以外による窒息」が6人（10.9%）であった。また、「低栄養による衰弱」は3人（5.5%）であった。心中事例では、「頸部絞扼による窒息」が27人（46.6%）と最も多く、次いで「中毒」が18人（31.0%）、溺水が4人（6.9%）であった。

表2-3 直接死因

区分	平成17年						平成18年					
	心中以外			心中(未遂を含む)			心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	14	25.0%	27.5%	—	—		12	19.7%	21.8%	2	3.1%	3.4%
胸部外傷	—	—	—	6	20.0%		1	1.6%	1.8%	1	1.5%	1.7%
腹部外傷	2	3.6%	3.9%	—	—		—	—	—	—	—	—
外傷性ショック	2	3.6%	3.9%	—	—		1	1.6%	1.8%	—	—	—
頸部絞扼による窒息	13	23.2%	25.5%	10	33.3%		7	11.5%	12.7%	27	41.5%	46.6%
頸部絞扼以外による窒息	5	8.9%	9.8%	1	3.3%		6	9.8%	10.9%	1	1.5%	1.7%
溺水	5	8.9%	9.8%	3	10.0%		5	8.2%	9.1%	4	6.2%	6.9%
熱傷	—	—	—	—	—		1	1.6%	1.8%	—	—	—
車内放置による熱中症・脱水	2	3.6%	3.9%	—	—		2	3.3%	3.6%	—	—	—
中毒	—	—	—	8	26.7%		—	—	—	18	27.7%	31.0%
出血性ショック	1	1.8%	2.0%	—	—		—	—	—	1	1.5%	1.7%
低栄養による衰弱	4	7.1%	7.8%	—	—		3	4.9%	5.5%	—	—	—
脱水	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—
凍死	—	—	—	—	—		1	1.6%	1.8%	—	—	—
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	2	3.6%	3.9%	2	6.7%		11	18.0%	20.0%	2	3.1%	3.4%
病死	—	—	—	—	—		2	3.3%	3.6%	—	—	—
その他	1	1.8%	2.0%	—	—		3	4.9%	5.5%	2	3.1%	3.4%
内訳(再掲)	全身打撲	—	—	—	—		—	—	—	1	1.5%	1.7%
	薬物による死亡	—	—	—	—		—	—	—	1	1.5%	1.7%
	結腸壊死	—	—	—	—		1	1.6%	1.8%	—	—	—
	頭部顔面を含む全身打撲	—	—	—	—		1	1.6%	1.8%	—	—	—
	頭部外傷	—	—	—	—		1	1.6%	1.8%	—	—	—
	肺炎	1	1.8%	2.0%	—		—	—	—	—	—	—
	小計	51	91.1%	100.0%	30	100.0%	55		100.0%	58	89.2%	100.0%
不明		5	8.9%		—		6	9.8%		7	10.8%	
	計	56	100.0%		30	100.0%	61	100.0%		65	100.0%	



○ 主たる加害者は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「実母」が29人（50.9%）、  
「実父母」が9人（15.8%）、「実父」が5人（8.8%）であった。また、「母の交際相手」  
が5人（8.8%）、「実母と母の交際相手」が3人（5.3%）であった。  
心中事例では、「実母」が46人（73.0%）、「実父」が13人（20.6%）、「実父母」が3  
人（4.8%）であり、「実母」が約7割を占めていた。

表2-4 主たる加害者

区分	平成17年						平成18年						
	心中以外			心中(未遂を含む)			心中以外			心中(未遂を含む)			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
実母	38	67.9%	70.4%	24	80.0%	-	29	47.5%	50.9%	46	70.8%	73.0%	
実父	11	19.6%	20.4%	5	16.7%	-	5	8.2%	8.8%	13	20.0%	20.6%	
継母	1	1.8%	1.9%	-	-	-	1	1.6%	1.8%	-	-	-	
継父	1	1.8%	1.9%	-	-	-	1	1.6%	1.8%	-	-	-	
養母	-	-	-	-	-	-	1	1.6%	1.8%	-	-	-	
母方祖母	-	-	-	-	-	-	1	1.6%	1.8%	1	1.5%	1.6%	
母の交際相手	2	3.6%	3.7%	-	-	-	5	8.2%	8.8%	-	-	-	
実母と	実父	-	-	-	1	3.3%	-	9	14.8%	15.8%	3	4.6%	4.8%
	養父	1	1.8%	1.9%	-	-	-	1	1.6%	1.8%	-	-	-
	母の交際相手	-	-	-	-	-	-	3	4.9%	5.3%	-	-	-
	その他(叔父)	-	-	-	-	-	-	1	1.6%	1.8%	-	-	-
小計	54	96.4%	100.0%	30	100.0%	-	57	93.4%	100.0%	63	96.9%	100.0%	
不明	2	3.6%		-	-	-	4	6.6%		2	3.1%		
計	56	100.0%		30	100.0%	-	61	100.0%		65	100.0%		

- 加害の動機は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「保護を怠ったことによる死亡」が18人（40.9%）で最も多く、次いで「しつけのつもり」が7人（15.9%）、「子どもの存在の拒否・否定」が5人（11.4%）であった。「精神症状による行為（妄想などによる）」、「泣きやまないことにはいらだったため」は、それぞれ4人（9.1%）であった。

表2-5 加害の動機

区分	心中以外			心中(未遂を含む)	
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合
心中	-	-	-	65	100.0%
しつけのつもり	7	11.5%	15.9%	-	-
子どもがなつかない	2	3.3%	4.5%	-	-
パートナーへの怒りを子どもに向ける	1	1.6%	2.3%	-	-
慢性の疾患や障害の苦しみから子どもを救おうという主観的意図	2	3.3%	4.5%	-	-
精神症状による行為(妄想などによる)	4	6.6%	9.1%	-	-
保護を怠ったことによる死亡	18	29.5%	40.9%	-	-
子どもの存在の拒否・否定	5	8.2%	11.4%	-	-
泣きやまないことにはいらだったため	4	6.6%	9.1%	-	-
その他	1	1.6%	2.3%	-	-
小計	44	72.2%	100.0%	-	-
不明	17	27.9%		-	-
計	61	100.0%		65	100.0%

### 3) 死亡した子どもに関する事項

○ 妊娠・周産期の問題は、心中以外の事例では、「望まない妊娠／計画していない妊娠」が10人（16.4%）、「母子健康手帳の未発行」、「妊娠健診未受診」がそれぞれ9人（14.8%）であった。また、「若年（10代）妊娠」は8人（13.1%）であった。心中事例では、「知的発達の遅れ」が8人（12.3%）であった。

表3-1 胎児期・出生時の問題

区分		心中以外			心中(未遂を含む)		
		人数(構成割合/61人)			人数(構成割合/65人)		
		あり	なし	未記入・不明	あり	なし	未記入・不明
妊娠・周産期の問題	切迫流産	6(9.8%)	12(19.7%)	43(70.5%)	2(3.1%)	16(24.6%)	47(72.3%)
	妊娠中毒症	1(1.6%)	14(23.0%)	46(75.4%)	2(3.1%)	17(26.2%)	46(70.8%)
	喫煙の常習	1(1.6%)	8(13.1%)	52(85.2%)	-	11(16.9%)	54(83.1%)
	アルコールの常習	1(1.6%)	11(18.0%)	49(80.3%)	-	12(18.5%)	53(81.5%)
	マタニティーブルー	-	6(9.8%)	55(90.2%)	3(4.6%)	7(10.8%)	55(84.6%)
	望まない妊娠／計画していない妊娠	10(16.4%)	5(8.2%)	46(75.4%)	-	11(16.9%)	54(83.1%)
	若年(10代)妊娠	8(13.1%)	33(54.1%)	20(32.8%)	1(1.5%)	45(69.2%)	19(29.2%)
	母子健康手帳の未発行	9(14.8%)	27(44.3%)	25(41.0%)	-	26(40.0%)	39(60.0%)
	妊婦健診未受診	9(14.8%)	14(23.0%)	38(62.3%)	-	21(32.3%)	44(67.7%)
	胎児虐待(故意の飲酒・喫煙)	2(3.3%)	11(18.0%)	48(78.7%)	-	16(24.6%)	49(75.4%)
	墮落分娩	5(8.2%)	22(36.1%)	34(55.7%)	-	21(32.3%)	44(67.7%)
	延性陣痛	1(1.6%)	19(31.1%)	41(67.2%)	-	21(32.3%)	44(67.7%)
	帝王切開	2(3.3%)	27(44.3%)	32(52.5%)	4(6.2%)	16(24.6%)	45(69.2%)
	低体重	4(6.6%)	26(42.6%)	31(50.8%)	2(3.1%)	22(33.8%)	41(63.1%)
	多胎	-	38(62.3%)	23(37.7%)	-	26(40.0%)	39(60.0%)
	新生児仮死	4(6.6%)	25(41.0%)	32(52.5%)	1(1.5%)	20(30.8%)	44(67.7%)
	その他の疾患・障害	4(6.6%)	24(39.3%)	33(54.1%)	-	21(32.3%)	44(67.7%)
	出生時の退院の遅れによる母子分離	4(6.6%)	29(47.5%)	28(45.9%)	1(1.5%)	19(29.2%)	45(69.2%)
	NICU入院	5(8.2%)	28(45.9%)	28(45.9%)	1(1.5%)	18(27.7%)	46(70.8%)
	患子ども障害の等疾	身体疾患・障害	6(9.8%)	27(44.3%)	28(45.9%)	1(1.5%)	27(41.5%)
知的発達の遅れ		4(6.6%)	27(44.3%)	30(49.1%)	8(12.3%)	23(35.4%)	34(52.3%)
成長障害(低身長・低体重)		4(6.6%)	33(54.1%)	22(36.1%)	1(1.5%)	36(55.4%)	28(43.1%)

○ 情緒・行動上の問題(複数回答)は、心中以外の事例では、「なし」が18人(29.5%)であった。「指示に従わない」、「無表情、表情が乏しい」は、それぞれ3人(4.9%)であった。

表3-2 情緒・行動上の問題(複数回答)

区分	心中以外(61人)		心中(未達を含む)(65人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
なし	18	29.5%	19	29.2%
ミルクの飲みムラ	1	1.6%	1	1.5%
激しい泣き	-	-	1	1.5%
夜泣き	2	3.3%	1	1.5%
多動	-	-	1	1.5%
衝動性	-	-	1	1.5%
かんしゃく	-	-	3	4.6%
自傷行為	-	-	1	1.5%
指示に従わない	3	4.9%	1	1.5%
無表情、表情が乏しい	3	4.9%	1	1.5%
食事の拒否	2	3.3%	-	-
夜尿	1	1.6%	-	-
固まってしまう	1	1.6%	-	-
虚言癖	2	3.3%	-	-
その他	3	4.9%	1	1.5%
不明	32	52.5%	40	61.5%

○ 乳幼児健診未受診の状況(複数回答)をみると、心中以外の事例では、「3～4ヶ月健診」で5人(17.2%)、「1歳6ヶ月健診」で5人(20.8%)、「3歳児健診」で10人(55.6%)が未受診と確認され、年齢が上がるに従ってその割合が増加していた。

心中事例では、「3～4ヶ月健診」で2人(8.0%)、「1歳6ヶ月健診」で3人(13.0%)、「3歳児健診」で4人(22.2%)が未受診と確認された。

○ 予防接種未接種の状況(複数回答)をみると、心中以外の事例では、「BCG・ツベルクリン」で3人(10.3%)、「ポリオ」で3人(11.1%)、「三種混合」で5人(19.2%)、「麻疹」で5人(20.8%)、「風疹」で9人(40.9%)が未接種であった。

心中事例では、「BCG・ツベルクリン」で1人(3.8%)、「ポリオ」で2人(7.4%)、「三種混合」で2人(7.1%)、「麻疹」で2人(8.3%)、「風疹」で2人(9.5%)が未接種であった。

表3-3 乳幼児健診および予防接種(複数回答)

区分	心中以外				心中(未遂を含む)			
	人数(構成割合/61人)				人数(構成割合/65人)			
	受診済み	未受診	年齢的に非該当	不明	受診済み	未受診	年齢的に非該当	不明
3～4ヶ月健診	24(82.8%)	5(17.2%)	11	21	23(92.0%)	2(8.0%)	1	39
1歳6ヶ月健診	19(79.2%)	5(20.8%)	22	15	20(87.0%)	3(13.0%)	8	34
3歳児健診	8(44.4%)	10(55.6%)	32	11	14(77.8%)	4(22.2%)	19	28
BCG・ツベルクリン予防接種	26(89.7%)	3(10.3%)	12	20	25(96.2%)	1(3.8%)	-	39
ポリオ予防接種	24(88.9%)	3(11.1%)	13	21	25(92.6%)	2(7.4%)	-	38
三種混合予防接種	21(80.8%)	5(19.2%)	13	22	26(92.9%)	2(7.1%)	-	37
麻疹予防接種	19(79.2%)	5(20.8%)	14	23	22(91.7%)	2(8.3%)	3	38
風疹予防接種	13(59.1%)	9(40.9%)	14	25	19(90.5%)	2(9.5%)	3	41

○ 養育機関への所属等は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「なし」が38人（65.5%）を占め、「保育所」は10人（17.2%）、「幼稚園」は3人（5.2%）、「小学校」は5人（8.6%）であった。

心中事例では、「なし」が19人（31.1%）を占め、「小学校」が24人（39.3%）、「保育所」が9人（14.8%）、幼稚園が4人（6.6%）であった。

表3-4 養育機関への所属等

区分	心中以外（61人）			心中（未遂を含む）（65人）		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし	38	62.3%	65.5%	19	29.2%	31.1%
保育所	10	16.4%	17.2%	9	13.8%	14.8%
幼稚園	3	4.9%	5.2%	4	6.2%	6.6%
小学校	5	8.2%	8.6%	24	36.9%	39.3%
中学校	-	-	-	2	3.1%	3.3%
高校	1	1.6%	1.7%	-	-	-
その他	1	1.6%	1.7%	3	4.6%	4.9%
小計	58	95.0%	100.0%	61	93.8%	100.0%
不明	3	4.9%		4	6.2%	
計	61	100.0%		65	100.0%	

#### 4) 養育環境などについて

○ 養育者の状況(家族形態)は、有効割合でみると、心中以外の事例では、「実父母」が24例(51.1%)と最も多く、次いで「一人親(離婚)」が9例(19.1%)、「内縁関係」が7例(14.9%)であった。心中事例では、「実父母」が29例(72.5%)で最も多く、次いで「一人親(離婚)」は、8例(20.0%)であった。

表4-1 養育者の状況(家族形態)

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
実父母	24	46.2%	51.1%	29	60.4%	72.5%
一人親(離婚)	9	17.3%	19.1%	8	16.7%	20.0%
一人親(未婚)	4	7.7%	8.5%	-	-	-
一人親(死別)	-	-	-	1	2.1%	2.5%
連れ子の再婚	2	3.8%	4.3%	2	4.2%	5.0%
内縁関係	7	13.5%	14.9%	-	-	-
養父母	1	1.9%	2.1%	-	-	-
小計	47	90.4%	100.0%	40	83.4%	100.0%
不明	5	9.6%		8	16.7%	
計	52	100.0%		48	100.0%	

○ 実母・実父以外の同居者(重複あり)は、心中以外の事例では、「母の交際相手」が4例(7.7%)であった。

表4-2 実母・実父以外の同居者(重複あり)

区分	心中以外(52例)		心中(未遂を含む)(48例)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
母方祖母同居	4	7.7%	2	4.2%
母方祖父母同居	2	3.8%	3	6.3%
父方祖母同居	-	-	3	6.3%
父方祖父同居	1	1.9%	-	-
父方祖父母同居	3	5.8%	3	6.3%
母の交際相手	4	7.7%	1	2.1%
父の友人	1	1.9%	-	-
その他	7	13.5%	3	6.3%
不明	8	15.4%	10	20.8%

○ 本児死亡時の実母・実父の年齢は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、実母の年齢は「20歳～24歳」が11例（23.4%）、「25歳～29歳」が10例（21.3%）、「30歳～34歳」が12例（25.5%）であった。実父の年齢は、「40歳以上」の12例（33.3%）が最も多く、次いで「25歳～29歳」の8例（22.2%）であった。心中事例では、実母の年齢は「30歳～34歳」が14例（31.1%）、実父の年齢は「30歳～34歳」が16例（42.1%）と、最も占める割合が高かった。

表4-3 本児死亡時の実母・実父の年齢

区分	心中以外						心中(未遂を含む)					
	実母			実父			実母			実父		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
19歳以下	4	7.7%	8.5%	1	1.9%	2.8%	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	11	21.2%	23.4%	6	11.5%	16.7%	2	4.2%	4.4%	1	2.1%	2.6%
25歳～29歳	10	19.2%	21.3%	8	15.4%	22.2%	9	18.8%	20.0%	2	4.2%	5.3%
30歳～34歳	12	23.1%	25.5%	5	9.6%	13.9%	14	29.2%	31.1%	16	33.3%	42.1%
35歳～39歳	6	11.5%	12.8%	4	7.7%	11.1%	10	20.8%	22.2%	5	10.4%	13.2%
40歳以上	4	7.7%	8.5%	12	23.1%	33.3%	10	20.8%	22.2%	14	29.2%	36.8%
小計	47	90.4%	100.0%	36	69.2%	100.0%	45	93.8%	100.0%	38	79.2%	100.0%
不明	5	9.6%		16	30.8%		3	6.3%		10	20.8%	
計	52	100.0%		52	100.0%		48	100.0%		48	100.0%	

○ 家計を支えている主たる者は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「実父」は20例（50.0%）、「実母」が9例（22.5%）であった。また、「母の交際相手」は3例（7.5%）であった。

心中事例では、「実父」が25例（73.5%）で約7割を占めていた。「実母」は5例（14.7%）であった。

表4-4 家計を支えている主たる者

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
実母	9	17.3%	22.5%	5	10.4%	14.7%
実父	20	38.5%	50.0%	25	52.1%	73.5%
継父	1	1.9%	2.5%	-	-	-
養母	1	1.9%	2.5%	-	-	-
養父	1	1.9%	2.5%	2	4.2%	5.9%
母方祖母	1	1.9%	2.5%	1	2.1%	2.9%
母方祖父	2	3.8%	5.0%	1	2.1%	2.9%
父方祖父	2	3.8%	5.0%	-	-	-
母の交際相手	3	5.8%	7.5%	-	-	-
小計	40	76.8%	100.0%	34	70.9%	100.0%
不明	12	23.1%		14	29.2%	
計	52	100.0%		48	100.0%	



○ 住宅の状況は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「集合住宅（賃貸）」が19例（45.2%）と最も多かった。心中事例では、「一戸建て（持ち家）」が16例（47.1%）と最も多かった。

表4-5 住宅の状況

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
一戸建て(持ち家)	11	21.2%	26.2%	16	33.3%	47.1%
一戸建て(賃貸)	1	1.9%	2.4%	1	2.1%	2.9%
集合住宅(所有)	1	1.9%	2.4%	2	4.2%	5.9%
集合住宅(賃貸)	19	36.5%	45.2%	11	22.9%	32.4%
公営住宅	7	13.5%	16.7%	4	8.3%	11.8%
他人の家に同居	3	5.8%	7.1%	-	-	-
小計	42	80.8%	100.0%	34	70.8%	100.0%
不明	10	19.2%		14	29.2%	
計	52	100.0%		48	100.0%	

○ 家族の経済状況は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「市町村民税非課税世帯」が7例（36.8%）と最も多く、次いで「市町村民税課税世帯（所得割）」が5例（26.3%）、「生活保護世帯」が4例（21.1%）であった。心中事例では、「市町村民税課税世帯（所得割）」が8例（42.1%）と最も多く、次いで、「年収500万円以上」が4例（21.1%）「市町村民税非課税世帯」が3例（15.8%）であった。

表4-6 家族の経済状況

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
生活保護世帯	4	7.7%	21.1%	2	4.2%	10.5%
市町村民税非課税世帯	7	13.5%	36.8%	3	6.3%	15.8%
市町村民税課税世帯(所得割)	5	9.6%	26.3%	8	16.7%	42.1%
市町村民税課税世帯(均等割)	1	1.9%	5.3%	-	-	-
市町村民税課税世帯(所得割&均等割)	-	-	-	2	4.2%	10.5%
年収500万円以上	2	3.8%	10.5%	4	8.3%	21.1%
小計	19	36.5%	100.0%	19	12.5%	100.0%
不明	33	63.5%		29	60.4%	
計	52	100.0%		48	100.0%	

○ 本児死亡時に同居していた実母・実父の就業状況は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、実母の就業状況は「無職」が27例（73.0%）であった。実父の就業状況は、「フルタイム」が22例（88.0%）であった。

心中事例では、実母の就業状況は「無職」が16例（66.7%）であった。実父の就業状況は、「フルタイム」が24例（85.7%）であった。

表4-7 本児死亡時に同居していた実母・実父の就業状況

区分	心中以外						心中(未遂を含む)					
	実母			実父			実母			実父		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
フルタイム	1	1.9%	2.7%	22	42.3%	88.0%	1	2.1%	4.2%	24	50.0%	85.7%
パート	7	13.5%	18.9%	-	-	-	5	10.4%	20.8%	-	-	-
家業手伝い	2	3.8%	5.4%	-	-	-	2	4.2%	8.3%	-	-	-
無職	27	51.9%	73.0%	3	5.8%	12.0%	16	33.3%	66.7%	4	8.3%	14.3%
小計	37	71.2%	100.0%	25	48.1%	100.0%	24	50.0%	100.0%	28	58.3%	100.0%
不明・未記入	15	28.8%		27	51.9%		24	50.0%		20	41.7%	
計	52	100.0%		52	100.0%		48	100.0%		48	100.0%	

○ 子どもが出生してからの転居回数は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「なし」が17例（48.6%）、「1回」が7例（20.0%）、「4回」が6例（17.1%）であった。心中事例では、「なし」が10例（47.6%）、「1回」が7例（33.3%）であった。

表4-8 死亡した子どもが出生してからの転居回数

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし	17	32.7%	48.6%	10	20.8%	47.6%
1回	7	13.5%	20.0%	7	14.6%	33.3%
2回	2	3.8%	5.7%	-	-	-
3回	2	3.8%	5.7%	3	6.3%	14.3%
4回	6	11.5%	17.1%	1	2.1%	4.8%
5回以上	1	1.9%	2.9%	-	-	-
小計	35	67.2%	100.0%	21	43.8%	100.0%
不明	17	32.7%		27	56.3%	
計	52	100.0%		48	100.0%	